作成:2014 年 2 月 28 日

GPS 安全性要約書
メタ･パラ･クレゾール

この GPS 安全性要約書は、化学産業界の自主的化学物質管理の取組み (GPS : Global Product Strategy) に基づいて、弊社が製造する化学製品の安全な取り扱いに関する概要を提供することを目的としています。 ヒト健康や環境への影響あるいはリスク評価の詳細、法規制情報や分類･ラベル情報等の専門的な情報を提供するものではありません。 また、弊社が発行する安全データシート (SDS) に代わるものではありません。 本製品のお取り扱いに際しては、弊社が発行する SDS をご確認下さい。

記載内容は、現時点で入手できる法令、資料、情報およびデータに基づいて作成しておりますが、品質など、いかなる保証をするものではありません。

1. 物質の特定 (Chemical statement)

物質の特定	説明
三井化学の製品名	ﾒﾀ･ﾊﾟﾗ･ｸﾚｿﾞｰﾙ
化学名 (別名)	m-クレゾールおよび p-クレゾールの混合物 (IUPAC 名: m-, p-cresol)
CAS 番号	1319-77-3
濃度	99 % 以上
分子式	C_7H_8O
構造式	OH, CH_3 / OH, CH_3
官報公示整理番号	化審法 : (3)-499、安衛法 : 既存

2. 物質の概要 (General statement)

メタ・パラ・クレゾールは、無色のフェノール臭のする液体です。 弱い揮発性があります。可燃性を有しています。

一般的に、ワニス、積層板、エポキシ樹脂・農薬・酸化防止剤・可塑剤・フェノール樹脂などの合成原料、消毒液、農薬・医薬・香料の中間体などに用いられています*。

飲み込んだり皮膚に接触したりすると有毒で、重篤な皮膚の薬傷や眼の損傷をもたらします。

水棲生物に対してわずかに有害性があります。 環境中に排出された場合、水域に移行しやすいと予測されますが、環境中で分解しやすく、生物に蓄積する可能性は低いと考えられます。

作業者がメタ・パラ・クレゾールを使用する際は、気化しやすいので蒸気が漏洩しないように、また、ミストが発生しないように管理して下さい。 密閉されていない場合、局所排気装置を設置するなどして、十分に換気を行って下さい。 ACGIH (米国産業衛生専門家会議) による作業環境許容濃度の勧告値は 20 mg/m^3 ですので、これを下回るよう管理・制御して下さい。 作業環境濃度が高い場合は、防毒マスクの着用を考慮して下さい。 吸収缶は有機ガス用のものを推奨します。 付着すると有害性のある物質が吸収されます。 皮膚への暴露を最小限とするような作業服、防護服を検討して下さい。

消費者がメタ・パラ・クレゾールを含む商品** を使用する場合は、付属の取り扱い説明書に従って使用して下さい。

環境への影響を最小化するために、メタ・パラ・クレゾールまたはこれを含む製品および製品の残留物を河川、水路、下水溝などに流さないで下さい。

* : NITE CHRIP IV. 暴露情報 http://www.safe.nite.go.jp/japan/sougou/view/ComprehensiveInfoDisplay_jp.faces

**: メタ・パラ・クレゾールは消毒薬等に広く使用されています

3. 製品情報 (Product information)

三井化学のメタ・パラ・クレゾールは、主にワニス、積層板などに使用されています。

この製品に関する詳しい条件については以下にお尋ね下さい。

三井化学株式会社

https://www.mitsuichem.com/contact/safety/

4. 物理化学的特性 (Physical / Chemical properties)

メタ・パラ・クレゾールは、無色のフェノール臭のする液体です。 弱い揮発性があります。可燃性を有しています。

特性	説明
外観	液体

色	無色
臭い	フェノール臭
pH	知見なし
融点	11 - 35 ℃
沸点	180 - 230 ℃
比重	1.030 - 1.038 (25℃)　(水より重い)
引火点	82 ℃ (密閉式)　(可燃性のある液体)
発火点	558 ℃ (常温の空気と接触しても自然発火しない)
蒸気圧	14.66 - 39.86 Pa (25 ℃) (弱い揮発性がある)
水溶解性	23.3 g/ℓ (20 ℃)　(やや溶けにくい)

5. ヒト健康影響　(Health effect)

飲み込んだり皮膚に接触したりすると有毒で、重篤な皮膚の薬傷や眼の損傷をもたらします。

影響	区分
急性毒性 (経口)	飲み込むと有毒です
急性毒性 (経皮)	皮膚に接触すると有毒です
急性毒性 (吸入)	分類できません
皮膚腐食性及び 皮膚刺激性	重篤な皮膚の薬傷をもたらします
眼に対する重篤な損傷	重篤な眼の損傷をもたらします
呼吸器感作性	分類できません
皮膚感作性	アレルギー性皮膚反応を起こす可能性は低いと予想されます
生殖細胞変異原性	分類できません
発がん性	分類できません
生殖毒性	分類できません
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できません

6. 環境影響　(Environmental effect)

水棲生物に対してわずかに有害性があります。 環境中に排出された場合、水域に移行しやすいと予測されますが、環境中で分解しやすく、生物に蓄積する可能性は低いと考えられます。

環境有害性	説明
水生環境有害性	水棲生物に対してわずかに有害性があります
大気環境有害性	知見がありません

環境中の運命･挙動	説明
環境中の移行性	環境中に排出された場合、水域に移行しやすいと考えられます。(予測結果)
生分解性	環境中に残留する可能性は低いです
生物蓄積性	生体内に蓄積する可能性は低いです

7. 用途における暴露の可能性 (Possibility of exposure)

三井化学のメタ･パラ･クレゾールが暴露される可能性のある主な工程は以下の通りです。これら用途に携わる場合、メタ･パラ･クレゾールに暴露する可能性があります。

対象	暴露される可能性のある主な工程
作業者	メタ･パラ･クレゾールを工業的に使用する過程 (製造、中間体使用、反応性溶媒の使用など) または、メタ･パラ･クレゾールを含む製品 (エポキシ樹脂･農薬･酸化防止剤･可塑剤 (リン酸トリクレジル等) ･フェノール樹脂合成原料, 電線ワニス溶剤, 消毒液など) を工業的に使用する過程
消費者	メタ･パラ･クレゾールを含む製品 (消毒液等) を使用する過程
環境	メタ･パラ･クレゾールを工業的に使用する過程、メタ･パラ･クレゾールを含む製品を使用する過程

参考: ECETOC TRA ver. 2

8. 推奨するリスク管理措置(Risk management recommendations)

7. 暴露の可能性で挙げた用途に携わる方は、SDS または取扱説明書に従い、以下のリスク管理措置をとることを推奨します。 これらリスク管理措置をとることで、作業者、消費者および環境のメタ･パラ･クレゾールに対するリスクは管理できると判定されます。

対象	リスク管理措置
作業者	･気化しやすいので蒸気が漏洩しないように、また、ミストが発生しないように管理して下さい。 密閉されていない場合、局所排気装置を設置するなどして、十分に換気を行って下さい。 ACGIH (米国産業衛生専門家会議) による作業環境許容濃度の勧告値は 20 mg/m^3 ですので、これを下回るよう管理･制御して下さい。 作業環境濃度が高い場合は、防毒マスクの着用を考慮して下さい。 吸

	収缶は有機ガス用のものを推奨します。 ・付着すると有害性のある物質が吸収されます。 皮膚への暴露を最小限とするような作業服、防護服を検討して下さい。 ・作業管理者は作業者に対し、適切な保護具の選択および使用方法、また作業場の管理方法を教育して下さい ・取り扱い場所の近くに目及び身体の洗浄装置を設置して下さい
消費者	・商品付属の取り扱い説明書に従って使用して下さい。
環境	・製造および加工の過程では、排気・排水設備を設置し、定期的な設備の保守点検を実施して下さい ・メタ・パラ・クレゾールまたはこれを含む製品および製品の残留物を河川や水路、下水溝などに流さないで下さい ・漏洩防止対策をして下さい

9. 発行・改定日　(Date of issue / Revision)

2014 年　3 月　12 日発行

弊社ホームページにて、最新の GPS 安全性要約書であることをご確認下さい。

http://www.mitsuichem.com/ps/index.htm

(注 1) GHS 分類: Globally Harmonized System of Classification and Labeling of Chemicals

世界的に調和されたルールに従い、化学品を危険有害性の種類と程度により分類するシステム。

「物質および混合物の分類、表示および包装 (CLP) に関する欧州議会および理事会規則 (EC (No) 1272/2008 annex IV)」に従った分類を採用した。

http://echa.europa.eu/web/guest/information-on-chemicals/registered-substances

作成/改定日	項目	改定箇所	引用 SDS 発行日	版
2014/2/28			2013/10/10	1

GPS 安全性要約書は、ヒト健康や環境への影響あるいはリスク評価の詳細、法規制情報や分類・ラベル情報等の専門的な情報を提供するものではありません。 また、弊社が発行する安全データシート (SDS) に代わるものではありません。 本製品のお取り扱いに際しては、弊社が発行する SDS をご確認下さい。